

鹿屋寺子屋かわら版

令和7年12月24日発行 第52号



特集 「体験活動」の続き

令和7年も残り少なくなりました。子どもたちは、イベントの多い年末年始を心待ちにしていることでしょう。有意義な冬休みになるように、健康・安全に過ごしてほしいと思います。さて、今回も前回に引き続き、寺子屋の体験活動について掲載します。

笠之原かがやき塾 ～流しそうめん・かき氷～ 8月2日



【児童の感想】

今日、流しそうめんとかき氷を食べました。みんなといっしょに食べるのは、とても楽しく、おいしかったです。

【指導者の感想】

児童は勉強が終わってから、地域の皆様、教頭先生、学習センター館長さんと一緒に、流しそうめんやかき氷を食べました。楽しいひとときを過ごしました。

りりし田崎塾 ～モルック～ 8月4日

【児童の感想】

モルックをしました。あてられない時は、くやしかったです。けんかがなく、楽しいニュースポーツができました。グループになった人と協力して、ゲームができました。

【指導者の感想】

モルックに挑戦しました。ポールを倒して得点を挙げるごとに歓声が上がりました。失敗して悔しがる子もいました。



鹿屋てのん塾 ～絵手紙教室～ 12月6日

【指導者の感想】

講師の樋脇佐愛子さんの丁寧な指導の下、子どもたちは、工夫を重ねながら世界に1枚だけの年賀状を完成させました。

【児童の感想】

年賀状に干支の「午」（うま）の絵を描いたり、自分の名前の消しゴムはんこを作ったりしてとても楽しかったです。



はなおか未来塾・古江寺子屋 ～餅つき大会～ 12月20日

【指導者の感想】

親子餅つき大会は、総勢38人で大盛況でした。杵（きね）での餅つきは、ほとんどの子どもたちが初めての体験でした。臼（うす）の真ん中めがけて勢いよく振り下ろす子どもや恐る恐る、そおっと下す子どもがいました。みんな貴重な体験をして、大喜びでした。

最後は、自分たちのついたお餅を丸餅にして持って帰りました。満面の笑顔が輝くひとときでした。



寺子屋を始めてみませんか？

平成7年度は、30か所の寺子屋が開設されています。開設場所は、学校、公民館・学習センター、自治公民館などです。それぞれの寺子屋では、学校や地域の実情に合わせた運営をし、子どもたちを支援してもらっています。そして、「鹿屋寺子屋事業」も徐々に学校や地域に根付いて来ているところですが、生涯学習課では寺子屋の開設数や塾生数をさらに増やしたいと考えています。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進の観点から、寺子屋事業についても 令和8年度の学校運営協議会の中で話題にし、目標や課題を共有していただければありがたいです。

【寺子屋事業と「かのや地域学校協働活動」との関連】

寺子屋事業は、地域学校協働活動の中の「放課後等における学校・体験活動」にあたります。より多くの地域住民が子どもたちの学びや成長を支えるとともに、住民相互の絆を強めることにつながります。「地域づくり」「つながりづくり」の一翼を担う活動です。

子どもたちは、寺子屋事業の体験活動で地域の素材を生かした学びや地域住民とのふれあいを体験する中で、地域のよさを理解したり、コミュニケーション能力を伸ばしたりすることができます。このことは、将来の地域を支える「人づくり」につながります。

寺子屋運営の具体例（鹿屋てのん塾）

- | | |
|-------|---|
| 1 塾生 | 22名 (1年:1名、3年:6名、4年:2名、5年:7名、6年:6名) |
| 2 指導員 | 4名 |
| 3 場所 | リナシティかのや アトリ工芸教室 |
| 4 開講日 | 毎週水曜日 (14:30~18:30) |
| 5 時間割 | 15:00~15:45 宿題等
15:45~16:00 休み時間
16:00~16:45 宿題等
16:45~17:00 休み時間
17:00~17:30 宿題等
17:30~18:00 掃除 |



- 6 体験活動 (年間7回程度)
内容：七夕飾り、水泳、まが玉作り、絵手紙、鹿屋体大とのふれあい、等